

序

我が国における高齢化社会は急激に進展しており、55歳以上の総人口に占める比率は1988年次に22.4%に増大している。そして、2000年には28.7%が55歳以上の高年齢者になると予測されている。このことは、今後社会、企業、各個人にとって大きな問題になると考えられるため、今後の高年齢者の雇用対策が必至となっている。とりわけ経済社会のニーズに応えるために、高年齢者の持っている技術・技能、知識を基礎として、これに時代の変化に即応できる幅の広い、又は高度な技術・技能、知識を付与し、就職に結び付けることが必要不可欠である。これらの目的を達成するには高年齢者に対する訓練計画の作成や訓練技法等をいかにすればよいか重要な課題となっている。

今回、「高年齢者用訓練プログラムの開発に関する研究」の基礎資料とするためにアンケートにより「マスターコースの実施状況調査」を行った。その調査結果は今後、当開発研究のための基礎資料として活用して行くものであるが、更に各施設等でマスターコースを実施する上での参考資料としても大いに役立つと思われるので、ここにとりまとめた次第である。

なお、このアンケート調査の実施に際して、ご協力頂いた各関係施設等の担当の方々に厚く御礼申し上げる次第である。

平成4年3月

職業訓練大学校

職業訓練研修研究センター

所長 志賀武彦

調査研究資料 第93号

高齢者特別訓練コースの
実施状況調査結果

—高齢者用訓練プログラムの開発関係資料—

発行 1992年3月

発行者 職業訓練研修研究センター
所長 志賀 武彦
〒229 神奈川県相模原市橋本台4-1-1
電話 0427-61-2111

印刷 (株) ワークワン
〒229 相模原市中央3-8-5
電話 0427-58-6091